

## 野田市楽寿園の管理に関する年度協定書

野田市（以下「発注者」という。）と社会福祉法人野田みどり会（以下「受注者」という。）とは、令和6年2月21日に、野田市楽寿園（以下「本施設」という。）の管理に関して締結した野田市楽寿園の管理に関する基本協定書（以下「基本協定」という。）に基づき、本施設の管理に関する年度協定（以下「年度協定」という。）を締結する。

（年度協定の目的）

第1条 年度協定は、本施設の管理業務（以下「本業務」という。）の各年度の業務内容及び本業務の実施の対価として支払われる指定管理料を定めることを目的とするものである。

（令和6年度の業務内容）

第2条 発注者及び受注者は、令和6年度の業務内容は、基本協定第12条に定めるとおりであることを確認する。

（業務報告等）

第3条 受注者は、毎月、本業務に関する報告書を発注者に提出しなければならない。

2 受注者が発注者に提出する報告書の内容は次のとおりとする。

(1)施設の利用状況

(2)破損及び修繕の実施状況

(3)事故、要望及び苦情対応状況（些細な案件も含め、全て報告すること。）

(4)使用料及び利用料金収入の状況

(5)電気料金、ガス料金及び燃料費の使用量及び支払状況

3 発注者は、受注者から本業務に関する報告書の提出を受けたときは、内容を確認した上で、当該報告書の引渡しを受けるものとする。

（令和6年度の指定管理料）

第4条 発注者は、受注者に対して本業務の実施の対価として、次の費用を支払うものとする。（「消費税額」は、消費税法第6条第1項の規定により非課税とする。）。

(1)基本額 金110,606,000円

(2)養護老人ホームの入所数が30人を超えた人数に対し1人当たり日額886円

2 前項の規定にかかわらず、養護老人ホームの入所数の減少により指定管理料に余剰金が出た場合、発注者と受注者の協議により、前項第1号の基本額を減額することができるものとする。

3 第1項の規定にかかわらず、介護報酬の改定により、介護保険による収入が本施設の地域密着型介護老人福祉施設の管理、運営に係る費用を下回った場合は、発注者と受注者の協議により、不足額を指定管理料として、受注者に支払うことができ

るものとする。

- 4 第1項第1号の指定管理料は、前金払いにより年4回に分けて支払うものとし、支払期別及び支払金額は次に掲げるとおりとする。

支払期別	支払金額
4月	27,651,500円
7月	27,651,500円
10月	27,651,500円
1月	27,651,500円

- 5 発注者と受注者は、第1項第2号及び第2項並びに第3項の費用を年度末に一括して精算するものとする。
- 6 発注者は、第4項及び第5項の規定による適法な支払の請求があったときは、その日から起算して30日以内に指定管理料を受注者に支払うものとする。
- 7 受注者は、発注者の責に帰する理由により前項の規定による指定管理料の支払が遅れた場合には、遅延した日数に応じて指定管理料に対し、年度協定締結時における政府契約の支払遅延防止等に関する法律（昭和24年法律第256号）第8条第1項の規定により財務大臣が決定する率を乗じて計算した額を発注者に請求することができる。

（個人情報の取扱い）

- 第5条 受注者は、当該公の施設の管理に係る個人情報を取り扱う事務の登録簿を確認し、登録簿により届け出られた個人情報の取扱い以外の取扱いをしようとするときは、あらかじめ、市長の了承を得た上でなければ、当該取扱いを開始してはならない。

（疑義等の決定）

- 第6条 年度協定に定めのない事項については、第一義的には基本協定によるものとする。基本協定にも定めのない事項については、発注者と受注者の協議の上、これを定めるものとする。

本協定を証するため、本書を2通作成し、発注者及び受注者が記名押印の上、各1通を保有する。

令和6年4月1日

発注者 千葉県野田市鶴奉7番地の1  
野田市  
野田市長 鈴木 有

受注者 千葉県野田市鶴奉270番地の5  
社会福祉法人野田みどり会  
理事長 遠山 康雄